

令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

第1回：令和6年度 学校運営協議会（発信者ごとの要点議事録）	
日 時：令和6年 9月25日（水曜日） 14：30～15：40	
場 所：西東京市立田無第二中学校 会議室	
出席者：折田 和文（会長）、勇 昇一委員、一之瀬 裕幸委員、本間 孝子委員、奥村 咲子委員、吾妻 隆一委員、矢野 尊久委員、南川 広幸委員 欠席者：五十鈴委員（副会長）、山崎 英昭委員、10委員中、8名の出席により、本会議は成立	
次第1	校長挨拶 司会：副校長 校長：皆様お忙しい中、本校の学校運営協議会にご出席をいただきありがとうございます。 暑かった夏も一段落しました。二中は10月1日から標準服に戻ります。暑さも少し和らぎ丁度良かったと思っています。今までは昼休みも熱中症指数が高い日が多く、校庭に出ることを禁止となる日もありましたが、最近はやっと昼休みも校庭に出ることが出来るようになり、昼休みも含めて学校らしい生活ができるようになったと感じております。 今後の大きな行事としましては、10月10日に合唱コンクールを今年は“タクトホームこもればGRAFAREホール”で開催いたします。客席が600席あるのですが、全学年生徒を入れると保護者席は190席となります。保護者の方々には申し訳ないのですが入替制となってしまいます。申込が多い場合には抽選となる可能性もありますが、申込集計結果により考えたいと思っております。 2学期も始まり1ヵ月が経ち、生徒たちは落ち着いて順調に生活しています。 副校長：それではここから議題に入りますので会長に司会をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
次第2	議題 （1）第2回協議会 議事内容確認 会長：議題1の第2回協議会の議事内容確認のために少し時間を取りたいと思います。 会長：今のところ、ご意見やご指摘がないようですので一応承認といたします。ホームページ掲載の都合上、何かございましたら今週末までに副校長までにお知らせください。 次に、議題2の学校評価 途中結果報告の説明をお願いします。 （2）学校評価 途中結果報告 校長：資料と合わせて見ていただければと思います。資料の上の方から順次ご説明させていただきます。 <u>1. 学力向上</u> 保護者アンケートと共に努力目標も成果目標も保護者アンケートのパーセンテージからの評価になります。年末12月に保護者アンケートを取り、1月に集計し評価となりますので、例年のとおり空白となっております。 <u>2. 生徒が主体となる指導の充実</u> 努力目標は「教員が自ら考えて生徒がその考えをグループ学習などで伝え合う機会を設定している」の結果では教員100%努力しているとグラフには出ていますが、担当主幹教諭の評価では4となっております。理由としては、“教員にとっても生徒にとっても主体的というのは具体的に何を言っているのか”という点で明確にできなかったことが課題だと思います。その点で進路学習指導部に確認したところ、数値評価5は適切ではないと考え、評価4となりました。“もう少し具体的に、生徒が主体的という事はどういう状態をいうのか”という事を我々自身が明確化し共通理解をして育てていこうと考えています。

成果目標では、同様に生徒の状態についても「あなたは授業に主体的に取り組んでいますか」により評価しています。生徒にとっては”主体的に取り組む”ということは積極的に一生懸命に頑張っている”とも捉えられるが、教員は“生徒が中心に主体となる学習を進めているか”と捉えていました。そういった意味でのアンケートの内容には課題があると考え評価3となっています。グラフでは95%あるので評価5をつけたいところですが、課題に対して日々改善努力をおこなっているため評価を2段階落としています。

3. 指導と評価の一体化

こちらに対しても担当主幹教諭の厳しい評価となりました。

努力目標「生徒の評価の結果を元に、自身の指導を見直して授業内容の改善を行っている」を教員アンケートで評価している。当然全員が肯定し100%であり評価5になるところです。ここで観点別評価について改めてご説明させていただきたいと思います。観点別評価ではABCで評価されていますが、授業課題を理解できている生徒はB評価とし、できない生徒にはC評価とします。より良くできている生徒にはA評価をします。教員の基本指導はC評価のできない生徒をできるようにすることでB評価に引き上げる取り組みが必要となります。C評価の生徒は一定数いるので指導と評価の一体化という意味では、C評価の生徒が極力減れば良いのですがなかなか難しい課題ではあります。担当の主幹教諭としては“もう少し減らすことができるのではないか”という意味で評価5のところを評価4としました。

成果目標「先生は授業を改善していますか」の生徒アンケートでも同様に95%の生徒が肯定しているので評価5になるところですが、“あまり改善できなかった教科の生徒全体の成績上昇具合が不十分ではなかったか”ということで評価4と厳しく評価したとご理解いただければと思います。

4. 問題解決型学習や探究学習の充実

努力目標「生徒が様々な方法を考え、より良いものを選択して取り組む力（思考力、判断力、表現力）を育てる活動を授業に取り入れている」の教員アンケートでも厳しい評価となっています。90%ですと評価5になるところですが、“引き続き努力が必要でまだ改善の余地がある”ということで評価4となっています。

成果目標「あなたは、課題に取り組むときに、深く考えずに取り組むのではなく、様々な方法からより良いものを選択して取り組むようになりましたか」の生徒アンケートでは86%の肯定的な意見ということで評価4でした。この結果を職員会議で共有し、研修を行い、より良い授業を行えるように努めてまいります。

5. 不登校の削減

次は不登校といじめの問題です。不登校削減にはいろいろな対策がありますが我々は3つの方法を提示しました。

努力目標「不登校の①未然防止②早期支援③長期的な対応を適切に行うことができた」3点に対しての教員アンケート結果で評価をしました。現在、当校で行っているのが、教室だけが提供環境ではないと考え、不登校の生徒が別室でも来ることができるように「グリーンスペース」を一室用意し勉強できる場所として対応しています。現在2名の生徒が定期的に利用しています。生徒たちが、“学級が楽しい”“集団生活で友達がいるから楽しい”と感じてもらえるように4月5月でアクティビティを企画し、友達と仲良くなれるような、友達と協力し合い何かを一緒に行うような取り組みを実施しました。その中で、人と仲良くなることができ、うまくコミュニケーションを取ることができるようになることで、友達との生活に慣れ親しんでいけるような環境をつくりました。教員アンケート結果では90%の肯定的な意見だったので評価4となっています。

成果目標「不登校出現率 6.1以下」東京都からは、不登校は出現率平均がトー

タルで6.1%におさえることを示唆されています。現在、当校では3%台なので増えないようにしていきたいと考えています。2学期のこれからは様々な要因で増えてくる傾向にあるので、これからはもっと気を引き締めていく必要があります。この時点ではまだ3%台ということで、評価5となっています。

6. いじめの未然防止、虐待の早期発見

努力目標「生徒の話を丁寧に聞き、受け止めている」の教員アンケートの結果では100%で評価5となりました。

いじめに関しては、二者面談や教育相談を行い、スクールカウンセラーに相談したりしながら生徒一人ひとりの思いを聴く機会を多く設けています。最近では市の臨床心理士のSSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）が家庭訪問をしてくれる制度ができました。そのような制度を利用しながら子どもたちの見守りをすることで充実してきました。また、欠席の生徒には細かく電話連絡をし、家庭訪問をしたりして、大きな問題もなく小さな問題も早期解決をしておりますので、評価5としました。

成果目標「先生は自分たちの意見や悩みについて親身に応じてくれる」の生徒アンケートは年度末に採る予定ですので評価結果は後期になります。

7. ふるさと探究学習の充実と学校運営協議会との連携

地域連携では皆様にたくさんのご協力をいただきありがとうございました。そして、ふるさと探求学習に関してもたくさんの様々なご支援をいただきました。

努力目標「ふるさと探究学習を計画的に実行し、地域の方々と連携して生徒たちの西東京市の理解を深める活動を行えた」の教員アンケートでは連携ができたということで、85%の肯定的回答で評価4となりました。

成果目標「ふるさと探究学習を通して、西東京市への理解を深めることが出来た」の生徒アンケートは93%の肯定的回答を得て評価5となっております。ふるさと探究学習も2年目となり、二中のスタンダードが出来つつあると感じています。

8. 学校における働き方改革の実施

業務改善ですが、学校の仕事はブラックだと言われる中、働きやすく子供に充てる時間を増やしたいという非常に難しい課題の内容だと感じています。

努力目標「業務の効率化にむけたアイデアを共有し、作業時間が短縮した」の教員アンケートですが肯定的回答が80%で厳しく評価して評価3となっています。

成果目標「机上整理の意識が高まった」の教員アンケートでは90%の肯定的回答を得ましたが、“まだ改善の余地がある”ということで、こちらも厳しい評価で評価4となりました。教育委員会の方が学校にいらしてまず見たいのが職員室の教員の机上だとおっしゃっています。机上が整理されていない教員は本来あってはいけないのですが子どもに関するものを紛失したり、大事な物をなくしてしまう可能性もあり、その結果で信用を無くしてしまうことを危惧していました。普段から机上の整理を行い、情報管理や授業の準備がスムーズにできるように対応しているところです。

今回の評価では、今まではデータの数字通りの評価でしたが、今回初めて教員の方から評価を厳しく出していただきました。そのへんのことに関しても、皆様からのご意見をいただければと思っております

学校関係者評価ですが、

評価が適切に行われている：A

まあまあの評価：B

中途半端である：C

全く評価できない：D

の学校関係者評価をいただきたいと思います

会長： 何か質問等がございますか。
教員アンケートの評価は担当主幹教員が全てしたのですか。

校長： 資料に記載しているように、資料の4項目を担当主幹教諭、あとは担当主任教諭と担当指導教諭がそれぞれ1項目ずつ評価しました。業務改善に関しては今年着任された主任教諭が評価いたしました。

委員： 2番目の「生徒が主体となる指導の充実」の評価は個人的には謙虚すぎるのではないかという印象です。個人的には結果データで評価5になるのであれば、そのまま評価5で良いのではないかと思います。

校長： この項目でもう目標を決める時に“生徒の主体性とは何を指しているのか“ということで漠然としているため、もっと明確に具体的にすべきだったという反省も含めて評価を下げています。

会長： 観点別評価でC評価の生徒をB評価に引き上げるという目標ではあっても、実績としては難しいと思う。

校長： C評価の生徒全員をB評価に引き上げることは理想的なのですが、“子どもよって得意不得意があると思うので、先生方にはそういった子どもたちに対する手立てをもって指導していますか”といった問いかけだったら良かったかもと感じます。

会長： 今日、学校関係者評価を決めなければならないのですか。

校長： ホームページや教育委員会に提示することになっており、年間2回やることになっておりますので、評価を頂ければありがたいです。

会長： 夏休み過ぎになると不登校が増える傾向があると聞きましたが。

副校長： 不登校の定義は、30日以上欠席者を意味します。そういった意味では4月から現在まではまだ不登校はいませんが、これから増える可能性はあります。

委員： 続けて欠席と思っていたが、トータルの欠席日数だったのですね。

会長： 夏休みや運動会が過ぎると不登校が増えるかと聞きますがどうでしょうか。

副校長： 子どもたちは始めのうちは頑張りたいという気持ちをもっていると思うのですが、特に一年生の不登校になるきっかけは勉強が進むにつれだんだん難しくなりついていくのが難しく成績でも明らかになってきて、友人関係での悩みなどもあったりで“学校に行きたくなる”傾向にある生徒がいたり、友人関係などが理由で不登校になっていく傾向があります。不登校には“継続”と“新規”があります。“継続”というのは小学校時から引き続いて不登校で中学でも不登校の生徒、また中学生になり継続的に欠席を繰り返している生徒のことを指します。“新規”とは中学生になってから新しく不登校になった生徒を指します。“継続”の生徒を通常に戻すことは、手を尽くしてもなかなか難しいのが実情です。そこで“新規”の生徒を抑制しようと考えています。例えば、新学期にレクリエーションなどの取り組みを行い、抑制効果はそれなりに出ているのですが、最近になり登校を少しずつしなくなる生徒が若干見られるようになり、今後はもう少し増える可能性がありますが、本校の不登校は13名と平均よりかなり低い数字にはなっています。また、去年来ることが出来なかった生徒が来ることが出来るようになったケースもあり、教員一同頑張っているところです。

会長： 病欠は除き、トータル30日を超えた段階で不登校になるのですね。とにかく保健室でもグリーンスペースでも、遅刻早退も含め登校すれば欠席扱いにはならないということですね。

副校長： 他の市でも図書室に登校すれば出席扱いにしたりと、都では“いかに家に引きこもらせないで、生徒たちと繋がりをもち続けさせることができるか”“外の世界や人との繋がりをもたせ続けられるか”など、試行錯誤して取り組んでいるところです。

委員： 「虐待の早期発見」のところですが、“平成26年6月30日に田無二中の在校生が

- 自殺する“ということがありました。今年で10年の節目になると思いますが、そのことを忘れないための連絡体制とかの活動をしていただきたいと思います。
- 校長： 今年丁度10年目となり、市内にその時の関係者がほぼいなくなりました。今までは関係者がいらしたので報告書は概要でしたが、その時の教育長職務代理者が現市長でその時の事態を報告書にまとめられ、市のホームページには報告書が掲載されています。本校では今年4月にその報告書を基に“何が悪かったのか”ということを考える研修を行いました。“本校からは絶対に虐待を生まない”という強い意識は歴代の校長も同様にやり続けていることです。“学校に來ない生徒や心配な生徒とは、とにかく連絡を取り、顔を見て声をかけること”を本校では徹底してやっています。他の学校よりは多くの手間をかけることを念頭に教員たちをお願いしている状況です。
- 委員： 「働き方改革の実施」についてですが、役所では残業を少なくし早く帰れるように上司が率先して先に帰り、部下が帰りやすくするとか、毎週水曜日はなるべく早く帰るようなことを試しに実践しています。学校での業務改善で机上整理も大事だとは思いますが、“実際に残業がどのくらい少なくなったのか”など、具体的にパーセンテージで知りたいと思います。
また“病気で休職している教職員はいるか”など、答えられる範囲で教えていただきたいと思います。
- 会長： 役職職員は残業手当が付くのですか。
- 校長： 役職も一般も残業手当は基本給の4%一律に付いていますが、残業手当としてはありません。国はそれを13%に引き上げることを検討しています。
現在カードで学校にいる時間を記録し毎月集計しているのですが、過労死ラインの残業60時間以上どころか80時間以上の教員は数人いますので、私から残業が多すぎることは本人に伝えています。
やる時はやらなくてはどうしても回らないので、“メリハリ”をつけてやるしかないのです。早く帰れそうな時はお互いに分担し合い帰るようにするとかでこの職種は終わりが無いため、時間的なことはどうにもならないのが現状です。業務量が減ればまた違うと思いますが、“時間的なこと以外で何か働き方改革ができないか”ということで、教員が働きやすくなるための働く環境整備の一環として“机上整理”を挙げました。時間をどのようにして働きやすい環境を作るのも“働き方改革”ということで、まずは環境整備からスタートしたことをご理解いただければと思います。
- 会長： 学校関係者評価に移ります。上から順番に評価をお願いいたします。
「生徒が主体となる指導の充実」「指導と評価の一体化」「問題解決学習や探究学習の充実」「不登校削減」「いじめの未然防止、虐待の早期発見」の5項目それぞれに関してご説明をいただきましたが、ほとんどの評価は数値評価より謙虚な評価になっています。それぞれA評価でよろしいでしょうか。
皆さんに賛成していただきましたので、5項目全部A評価にいたします。
業務改革には意見も出ましたが、校内で何か働きかけがありますか。
- 副校長： 校内でしているのが行事の精選です。例えば、昨年1月の学校運営協議会開催の時に、校内作品展を開催し学校公開も同時に行うスタイルをとりました。行事としての学校公開ですとそのためだけの授業準備もあり時間をかけなくてはなりませんが、行事ではなく平常の授業にすることで先生方の負担が少なくなると考えました。“どの行事を減らすか”ということはなかなか難しいのですが、少しずつでも先生方の負担を減らしていければと思います。
- 校長： 従来に比べ、確かに小規模になった印象があるとの声も聴くので、その辺がとても難しいところではあります。
- 副校長： 追加で報告をさせてください。皆様のご協力をいただきまして「職業座談会」を

- 12名の講師をお迎えし開催いたしました。委員の方にも講師としてご参加をいただきました。
- また、副会長にもご協力いただきまして「地域の方による補習教室」を開催いたしました。高校生だと生徒も質問がしやすいのでないかと考え、保谷高校で募集をし応募者に来ていただき、全部で3日間行いました。
- 委員： 谷戸公民館の夏の期間だけですが一般開放して“いつでもだれでも学習できる”という事で“近隣の高校生や大学生が子どもたちに教える”という、縦の連携ができてとても良い一週間になったと思います。FMなどでPRをした結果、50人ほどの方々が来ていただきました。来年も実施したいと思います。
- （3）教職員の任用について
- 校長： 学校運営協議会CSの制度になってから、教職員の任用についても皆様のご意見をいただいております。今は教職員の新しい移動を調整していく時期なので、皆様からご意見を参考にして市役所の方と人事に関する交渉をしていき、西東京市としてご意見を参考にした人材を募集していただきます。よろしくお願いいたします。
- 会長： 不登校の加配校なっていますが、あのような形で加配はないのですか。
- 校長： 現在、数学と英語の習熟度別少人数クラスが加配されています。通常の数より不登校もいれると3人加配されている状況です。ただし、来年度は不登校の加配についてはなくなります。ということで、数学と英語の習熟度別少人数クラスを継続することでプラス2人が加配されることになります。
- あとは、学級の増減で教員数が変わります。今の3学年は3クラスなので全体で11クラスです。来年度は市学務課では1クラス増え、12クラスになると予想しています。クラスが増えれば教員定数も今よりは増えることが予想されます。
- 委員： 学区割はどうなっているのですか。
- 校長： 学区割が変わり、本校は谷戸第二小学校と住吉小学校になりました。ただ、地理的に住吉小学校は明保中学校や保谷中学校の方が近いので本校にはあまり来ることはありません。本校には人数順で谷戸第二小学校、田無小学校、保谷小学校、住吉小学校から来ます。学区割を出身小学校で単純に割ることは難しいですね。
- 会長： 教職員の任用に関しては、“英語が堪能な先生”および“部活もやってくれる先生を要望する“ことで、よろしいでしょうか。
- 副校長： 生徒アンケートの中で“学校で楽しいこと”という問に対して“友達との会話”が一番目で60%以上の回答でした。2番目は“部活が楽しみ”でした。部活動は生徒や保護者にとっては楽しみでも、教員側からすると、“働き方改革”を考えると難しい状況ではあります。本校のほとんどの教員は部活動に関してとても好意的に受けてくれているので助かる場所ではあります。
- 不登校加配がなくなっても、クラス数が増えると予想されるので定数は変わらないと考えています。
- 会長： 任用に関しては、その2点を要望するという事にいたします。
- （4）各委員より
- 委員1： 中学は現在“職場体験”のシーズンで、先日は田無第1中学校の生徒、女子2名男子1名が当社に来ました。一応、製造業とIT産業という両方で考えていましたが生徒たちは楽しんでいました。10月には田無第2中学校からの生徒受け入れをお待ちしております。一応6名まで受け入れられるとお伝えしています。
- 委員2： 今まで仕事をしていたため、なかなか学校の行事には参加できませんでしたが、時間に余裕ができたので、できるだけ学校行事に参加したいと思っています。
- 委員3： 同窓会の報告ですが、夏休み学習教室を3日間行われまして、お迎えした18名の講師の方の交通費を支給させていただきました。2000年度卒業生の学年会を行うという事で155名分のハガキ代金を補助させていただきました。

委員 4：谷戸公民館からのお知らせですが、今年は開館40周年に当たり、11月4日文化の日振替休日の日にお祝いを致します。一日でタイトスケジュールになりますが西東京市親善大使の林家久蔵真打に来ていただきます。青嵐中学校を卒業され、現在も西東京在住ということもあり、近隣の小学校中学校の子どもたちに“真打による落語体験”をしていただけることになりました。テーマは“なぞかけ”で、体験希望者を10月2日から募集いたします。近隣の小中学校にはチラシ配布を予定しております。小中学生が優先となりますが落語にご興味のある方をご存じでしたらご案内いただければと思います。あとは、登録団体による活動紹介やシンポジウムがありますので、皆様お時間がおありのようでしたら、一緒に40周年を祝っていただければと思います。

委員 5：7月に“放課後カフェ”のプレオープンをしたところ、あまりにも好評だったことを受け、PTA会は10月1日（火）正式オープンすることを決定しました。時間は3時半から5時までとなります。前回の運営会議ではもともと今年“放課後カフェ”をやるかどうかはわからなかったため予算をほとんど取っていませんでしたが、PTA執行部と相談をして予算の増額ができました。予算をPTAから出させていただき、正式に“放課後カフェ”を開くこととなりました。今年度は校長先生の許可をいただき10月に1回開催し、その次は12月、今年度中に全部で3回開催できれば、来年度のPTAに引き継ぐことが出来ると思っています。皆様、お時間がございましたらお手伝いや子どもたちとコミュニケーションを取りに来ていただければ助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

委員：お手伝いは“放課後カフェ”に直接行けばいいのですか。

委員 5：是非是非来ていただきたいと思います。少しの時間でも結構ですのでよろしくお願いいたします。予算は3回分の承認いただいています。

会長：ありがとうございました。以上で第3回学校運営協議会の議題を終わります。事務連絡をお願いいたします。

次第 3 事務連絡

副校長：本日はお忙しい中、ありがとうございました。

最後に2点だけ事務連絡をさせていただきます。

次回の第4回学校運営協議会が来年1月11日土曜日に開催を予定しておりますが、この日に生徒作品展を開催しております皆様にはご見学をしていただく予定です。皆様よろしくお願いいたします。もう1点は資料の中にピンク色の用紙がございますのでそれにご記入していただき、お帰りの際にご提出をお願いいたします。以上です。

会長：これで第3回学校運営協議会を終わります。ありがとうございました。